

千秀だより

横浜市立千秀小学校

5月号

平成25年(2013).5.1



新年度、無事にスタート、ありがとうございます。

校長 市川 幸男

風薫る5月。新学期がスタートして一月が過ぎようとしておりますが、保護者の皆様には、授業参観・学級懇談会・学校を語る会などの行事やPTA委員の選出などにご協力を賜りありがとうございました。

子どもたちは、新しい学年・学級で係活動や当番活動などの自分の役割が決まり、学校のあちらこちらで張り切って活動する様子が見られるようになってきました。なかでも5年生と6年生は、校内放送のアナウンスや飼育動物への世話・児童集会の進行など委員会活動で、一人一人が何らかの役割を担い、学校のみんながより豊かな学校生活を過ごせるようにと活動を進めています。授業から離れた場面でも、子どもたちが生き生きと活動し活躍する姿が見られることは本当に嬉しく、思わず「ありがとう。」の言葉が口をついて出てきます。子どもたちも活動をしながらいい笑顔返してくれますので、とても温かい気持ちになることができます。1年生から4年生までの子どもたちも、そうした活動の様子を見ながら、お兄さんやお姉さんのがんばりとすばらしさを感じるとともに、「自分が高学年になったら・・・。」という期待感も膨らませていることだと思います。また、学校では、スマイル活動やペア学年の活動など、異なる学年の子どもたちが一緒に活動できるような場面を、学習の中に組み込んでいます。本年度も、全校遠足や運動会など1～6年生までそろった縦割り班を構成して、一緒に楽しむ行事も計画しています。高学年の子どもたちにとって、思いやりの気持ちや責任感を育んだり、リーダーシップを発揮したりする良い場だと思います。また、そういった高学年の姿を見て低・中学年の子どもたちが先に述べたように、自分の未来の姿を学び、千秀小学校の良い校風づくりに結びついていく場にもしていきたいと思っています。

そんな明るく素直で頑張る子ども達の健全育成を図るために、これまで千秀小学校では、「チーム千秀・すこやか隊」を組織し、多くの保護者の方や地域の方に、学校教育活動等への様々な支援をいただいております。具体的には登下校時の通学路見守りや、読み聞かせ活動、図書室整備、学習環境整備、クラブの指導(パソコン・調理)、ゲストティーチャーなど、多くの分野で、ご支援をいただいております。そんなすこやか隊のチームコンセプトが『できる人が できるときに できることから』です。この活動は本校が他に誇る、素晴らしい活動だと捉えています。その運営については、これまで有志保護者の方のご苦勞やご努力のもと、毎年、実態に対応し改善され、現在の姿にまで成長して参りました。今年度からは、学校でも担当職員を設定し、これまで関わって頂いた方の思いを大切に継承しつつ、さらに保護者・地域の方と協働して進めてまいりたいと考えています。